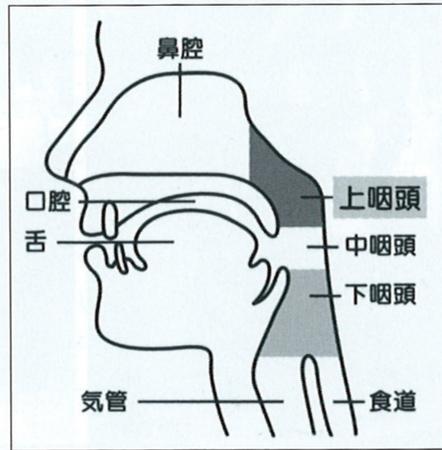
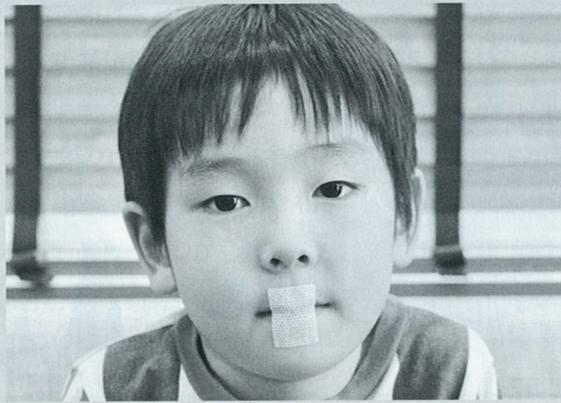


最も病巣感染が
起こりやすい！

上咽頭の位置

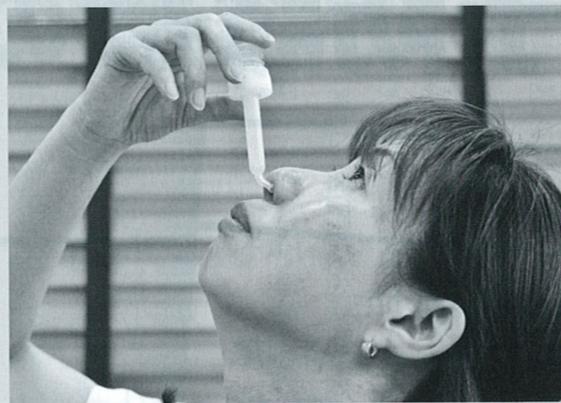


上咽頭の病巣感染の治療



■口呼吸の是正

口にテープを張り、強制的に口呼吸ができないようにする。



■鼻洗浄

鼻洗浄液を点鼻して上咽頭を洗浄、病巣感染を改善していく。



鼻洗浄液「ミサトール リノローション」。

スクがあります。そのため、口腔内であれば、う蝕、歯周病の予防に努め、仮に発症したら早期の段階での治療・ケアによる慢性化防止が欠かせません。これまでに歯科医療関係者が訴えてきた予防歯科の意義は、病巣感染のコンセプトによって、極めて大きな意義を獲得することになるのです。

さらに、上咽頭への対応も歯科医院の新たな役割の一つとなります。上咽頭の

病巣感染の治療として用いられる方法は鼻洗浄や口呼吸の是正などで、歯科医院でも行うことができます。

生理食塩水や、上咽頭を洗浄する医療機器として発売されている『ミサトール リノローション』(Adabo社)は、歯科医院での生活習慣指導に活用できます。口呼吸の是正には、「あいうべ体操」などの口腔機能訓練や、絆創膏テープを使用します。

感染症の持続感染や再感染が病巣となつているケースが多々あるとされています。マイコプラズマ感染症について長年研究してきた松田和洋氏は、千葉大学などとの共同研究によってマイコプラズマ感染症の精密定量的な検査システムを開発。急性期だけでなく、原病巣となった後の発見や経過の把握も可能になりました。

マイコプラズマは感染者のうち25%が肺以外に症状を呈することが知られており、「中耳炎」「関節炎」「髄膜炎」「脳炎」「ギラン・バレー症候群」「血管炎」「肝炎」「睇炎」「心筋炎」「溶血性貧血」「ステイブンス・ジョンソン症候群などの皮膚炎」「腎炎」などを引き起こすとされています。慢性化して病巣感染となると、さらに「喘息」「リウマチ」「膠原病」「神経疾患」「アレルギー」などの難治性疾患まで、幅広い病像を呈することになります。経過を的確に把握できるようになったことで、抗菌剤治療などが可能になってきており、新しいワクチンや治療法について、研究開発が進められています。

マイコプラズマ感染症は全身の微小血

管に炎症を起こす疾患ですから、風邪に近い症状であれば早期発見が容易ですが、原病巣となつて関係なさそうな臓器や部位に慢性症状が現れた場合には、発見が遅れてしまいます。さまざまな不定愁訴が病巣感染によって引き起こされている可能性が高いのです。

■口腔内の病巣感染

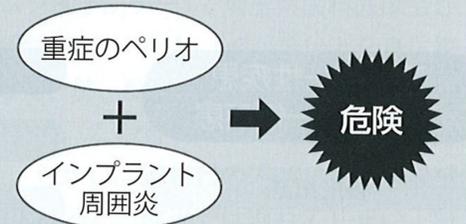
「歯科治療を行つて慢性症状や他疾患が軽快した」という臨床経験を持つている歯科医師は意外に多いもの。しかし、

その理由が明確でないところに問題がありました。

口腔内には多種・多数の細菌があり、歯や歯槽骨の損傷だけでなく、病巣感染を通してさまざまな症状や病気に関与します。歯科治療や口腔ケアによって病巣となる部位が形態回復し、細菌もコントロールされた結果、思わぬ症状が軽快したり、治癒することは不思議ではありません。

病巣感染は、それ自体が軽微なものでも、思わぬ部位に思わぬ影響を及ぼす

重症のペリオが危険な理由



医科の視点からすれば、重症のペリオやインプラント周囲炎が全身にとって健康リスクとなるのは、歯科医療関係者の多くが認識しているように、「歯周ポケットから血管に菌が入る」「内毒素が循環する」といったことによるものだけではない。血管内に外部から菌が侵入していること自体、菌血症(場合によって敗血症に至る危険な病気)の状態であり、すでに「全身疾患のリスク」などという段階をはるかに超えている。

軽度の炎症でも、慢性化すると多疾患を引き起こす病巣感染となる可能性があることが問題なのだ。そのため、早期の炎症コントロールが歯科医療の重要な役割となる。